



問

雲出伊倉津町地内の避難道路の速やかな整備を

雲出伊倉津町地内の避難道路の整備について、津市は令和3年度に地元自治会から要望を受けたにもかかわらず、何年間も放置してきたのではないかと。

市民の生命を守るために、避難道路の整備は最優先に取り組むべき事業と考えるが、対応状況は。

答

避難道路の整備に向け、自治会との協議を進めていく

当該避難道路については、令和4年1月12日付けで自治会から要望書が出されて以来、何度か協議を重ねてきており、令和7年8月の協議においては、要望の趣旨が避難道路の整備であることを改めて確認している。

避難道路の整備には、国の補助事業である都市防災総合推進事業を活用したいと考えており、そのために必要となる地区防災計画を自治会で策定することについての意向も確認していることから、避難道路の整備に向け、引き続き自治会との協議を進めていく。

その他の質疑・質問

- 火災による民家破損の市の100%補償に関する公文書は偽文書なのか
- ズリ（物品）の処分は適正か
 - ズリを扱う2業者へ搬出は適正か
- クリーンセンターおおたかの焼却熱を電気に変える施設について
- 最終処分場の約5万㎡の穴と水の関係について

雲出伊倉津町地内の狭あい道路



問

津駅周辺基盤整備のビジョンに対する市長の思いを問う

現在の津駅周辺空間が形成されてから約半世紀が経過し、施設の老朽化や駅西側の人口増加等の社会情勢の変化に対応するため、津駅西口については先行して再整備が進められている。

市民から津駅周辺の活性化に対する期待が高まる中で、津駅周辺基盤整備のビジョンに対する市長の思いを問う。

答

国・県・市がプロジェクトを前に進める起爆剤になってほしい

津駅周辺基盤整備のビジョンは、津市が持っているこのエリアの将来像を示していくために令和7年7月末に策定した。ビジョンを示したことによって、国・県においてバスタプロジェクトの調査やほこみち制度を活用した歩道空間拡張の道路整備計画などのさまざまなことを次のステップに進めてもらえるのではないかと強く期待している。

また、津市においても津駅西口駅前広場の再整備に向け、国の都市・地域交通戦略推進事業を活用して令和8年度から工事に着手できるよう取り組んでおり、国・県・市がそれぞれのプロジェクトを前に進めていくための起爆剤になってほしい。

その他の質疑・質問

- 市民に寄り添うごみ出し支援事業について
 - 戸別収集・大型家具等ごみ出し支援対象拡大を
- 津市の文化政策について
 - 文化芸術に資する支援における奨励制度は
- 海上アクセス運航事業について
 - 新造船を含む財源確保と今後の運賃の在り方は
- 国語教育の在り方について

津駅周辺を約50年ぶりに大きく変えるチャンスが訪れ、さらなる活性化が期待されている



■西口駅前広場の再整備イメージ